

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330331071	子育て支援 Childcare Support	松本 亜香里			1	選択	3前期

科目の概要

保育者の職務は、大きく分けて子どもの保育と保護者に対する家庭支援の2つがある。本科目では、保育所や幼稚園、認定こども園、子育て支援施設において、保育者が行う子育て支援の理論と方法について学ぶ（DP3・4）。社会の変化や人々の生活の変化に応じて、子どもや保護者をとりまく生活も変化し、支援ニーズも変化している。子育て支援には、このような変化に対応する側面と時代や社会が変化しても変わらない側面がある。これらのことを事例検討をとおして、子どもの最善の利益を軸とした子育て支援のあり方と保育者の役割について学びを深める（DP1・5）。

学修内容	到達目標
① 子育て支援の現状について学ぶ ② 子育て支援の特性と展開について理解する ③ さまざまな対象への子育て支援について学ぶ	① 子育て支援の現状について理解し、説明することができる ② 子育て支援の特性と展開について理解し、保育者に求められる役割について説明することができる ③ さまざまな対象への子育て支援について理解し、地域資源の活用も含め支援計画を立案することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	子育て支援の現状について興味や関心をもち、自ら関連するニュースや情報を調べることができる
	働きかけ力	グループワークをとおして、活発な意見交換を行うことができるよう、周囲に働きかけることができる
	実行力	講義終了後、自ら復習に取り組むことができる
考え抜く力	課題発見力	事例について、個別的・社会的背景を踏まえて、子育て支援の課題を導き出すことができる
	計画力	計画的に学修をすすめることができる
	創造力	事例について、その課題解決に向けた多様な方法を考えることができる
チームで働く力	発信力	自分の意見をまとめ、分かりやすく相手に伝えることができる
	傾聴力	グループワークにおいて、他者の意見を受け止めることができる
	柔軟性	グループワークにおいて、他者の意見を受け止め、自分の知見を広げることができる
	状況把握力	グループワークにおいて、活発な意見交換ができるように自分の役割に気づくことができる
	規律性	グループワークにおいて、グループのルールや約束を守り、メンバーをサポートすることができる
	ストレスコントロール力	自分の感じ方や考え方の傾向を把握し、統制することができる

テキスト及び参考文献

テキスト：こどもまんなか社会に活かす「子育て支援」（晃洋書房）立花直樹・渡邊慶一
 参考資料：幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領
 その他随時、授業課題と資料を配布する。

他科目との関連、資格との関連

多科目との関連：「子育て支援」は、「子どもの健康ⅠⅡ」や「乳児保育」、「保育の計画と評価」で獲得した知識・技術を活用する。その後履修する「地域と子育て支援」の基礎となる科目である。
 資格との関連：保育士

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 授業中の私語ならびに授業に関係のない行動を慎むこと 積極的に授業に参加すること 配布プリントは講義ノートに合わせてまとめ、内容を整理しておくこと 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的なグループワーク、ディスカッションを行うことにより、主体的に学ぶこと 子育て支援の学習内容を確認するとともに、保育に関する時事問題に関心を持つこと

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		30	①		○子育て家庭を取り巻く社会と子育て支援の現状について理解し、問題点について自分の考えを示すことができるか。 ○子育て支援の特性と展開について、授業で学んだことを自分の言葉でまとめることができるか。 ○子育て支援の多様な対象や社会資源について、その特徴や配慮事項を理解し、説明することができるか。
					②		
					③		
		レポート		30	①	✓	○次のポイントについて要点を押さえてレポートにまとめることができるか。 ・子育て支援の現状と課題について ・保育者に求められる専門性について ・子育て支援の展開過程と具体的な援助方法について ・地域資源の活用と関係機関との連携についてなど 知識の獲得(子育て支援の現状について理解するとともに理念と役割について理解する):50% 知識の活用(子育て支援の展開過程について理解し具体的な支援について提案する):30% 課題解決(地域資源の活用と関係機関との連携について理解し諸問題に対する解決策や対処方法について提案する):20%
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			30	①	✓	・子育て支援の課題に対する解決策をグループで話し合い、発表を行う ・子育て支援に必要な情報をまとめ、子育てマップを作成する ・子育て支援ニーズを検討し、検討内容を反映した子育て支援センターのおたよりを作成する 知識の獲得(子育て支援の現状について理解するとともに理念と役割について理解する):50% 知識の活用(保育者に求められる専門性について理解し具体的な支援方法について発表する):30% 課題解決(地域資源の活用と関係機関との連携について理解し諸問題に対する解決策や対処方法について提案する):20%	
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	(主体性)自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる (実行力)課題に向けて積極的に取り組み、粘り強く取り組み続けることができる (課題発見力)授業で学んだことを軸に、子育て家庭や子育て支援について、課題と解決に向けて現段階でなすべきことを的確に把握することができる (創造力)さまざまな子育て家庭が抱える課題に対し、どのように取り組んでいくか、創意工夫した解決策を考察することができる (発信力)事例や客観的データ等を用いて、具体的にわかり易く課題解決の方向性を発信することができる (傾聴力)内容の確認や質問等を行いながら、授業での提示を正確に理解することができる (規律性)受講態度(学習意欲欠如、私語、課題やその他の提出物の未提出、など)が見られる場合は減点する (情況把握力・柔軟性)グループワークをおとして、多様性を受け止め、柔軟に意見をまとめることができる	
				②	✓		
				③	✓		
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>達成目標①から③について実践できるとともに、レポートでの記述内容、授業での積極的発言、毎回の学び振り返りシートでの知見において、全て満足できる評価が得られる。つまり、子育て支援をめぐる現状と課題及び理念と役割について理解し、子育て支援の展開過程と適切な具体的援助方法、留意点について理解できていることが基準となる(総合評価80点以上90点未満)。A以上の能力を有しているもの(総合評価90点以上)をSとする。</p>	<p>達成目標①から③について実践できるとともに、レポートでの記述内容、授業での積極的発言、毎回の学び振り返りシートでの知見において、ある程度満足できる評価が得られる。つまり、子育て支援をめぐる現状と課題及び理念・役割について理解し、子育て支援の援助方法が分かることが基準となる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ・子育て支援の意義と目的 ・子どもの保育と保護者支援の重要性	・講義	子育て支援の重要性について自分の意見を述べられる	予習：シラバスを読み、科目概要について理解しておく。テキスト第1章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出しておく 復習：講義内容をふまえて、ワーク1-1. 1-2を取り組む	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
2	保護者との相互理解と信頼関係の構築	・小テスト① ・グループワークによる意見交換 ・講義 ・振り返りシートの提出	子育て支援を行うにあたり必要となる、保育者と保護者との相互理解と信頼関係構築の方法について、バイステックの7原則を用いて説明することができる	予習：テキスト第2章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出しておく 復習：バイステックの7原則について自分の対人事例に応用した考えをまとめる	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
3	保護者と家庭の課題に対する複層的理解と支援	・小テスト② ・振り返りシートへのフィードバック ・講義 ・グループワークによる意見交換	育てのニーズが生まれる背景を理解し、ニーズへの気づきとそれを正しく理解する視点について考えをまとめることができる	予習：テキスト第3章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出しておく 復習：講義内容をふまえて、ワーク3-2を取り組む	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
4	子ども・保護者が多様な他者とつながる機会・場の提供	・グループワークによる意見交換 ・講義 ・振り返りシートの提出	子どもと保護者が多様な他者とつながる意義、保育者の役割を確認し、子どものウェルビーイングを実現するために求められるコミュニティとはどのようなものかをまとめることができる	予習：テキスト第4章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出しておく 復習：グループワークで得た多様な意見を取り入れ、自分の考えをまとめる	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
5	子どもおよび保護者に関する情報の把握	・小テスト③ ・振り返りシートへのフィードバック ・講義 ・グループワークによる意見交換 ・振り返りシートの提出	保育相談支援を行うために必要とされる情報や情報の活用方法について、説明することができる	予習：テキスト第5章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出しておく 復習：講義やグループワークで得た知識や意見をまとめる	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
6	支援計画および指導計画と環境構成	・小テスト④ ・講義 ・グループワークによる意見交換 ・振り返りシートの提出	支援計画作成の前後を含めたソーシャルワークのプロセスと支援計画作成の際に活用する社会資源について、説明することができる	予習：テキスト第6章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出しておく 復習：講義やグループワークで得た知識や意見をまとめる	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
7	支援における実践・記録・カンファレンス・評価	・小テスト⑤ ・振り返りシートへのフィードバック ・講義 ・グループワークによる意見交換 ・振り返りシートの提出	子育て支援の実践の在り方や記録の意義、方法、カンファレンスと評価について説明することができる	予習：テキスト第7章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出しておく 復習：講義やグループワークで得た知識や意見をまとめる	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	法人内・園内における専門職の連携・協働	・小テスト⑥ ・振り返りシートへのフィードバック ・講義 ・グループワークによる意見交換 ・振り返りシートの提出	法人内や園内において、専門職間でどのように連携を行い協働しているか理解することができる	予習：テキスト第8章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出しておく 復習：講義やグループワークで得た知識や意見をまとめる	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	社会資源の活用と他機関・他職種との連携・協働	・振り返りシートへのフィードバック ・講義 ・グループワークによる意見交換 ・振り返りシートの提出	社会資源の活用と他機関・他職種との連携・協働について説明することができる	予習：テキスト第9章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出ししておく 復習：講義やグループワークで得た知識や意見をまとめる	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	保育所等における支援	・振り返りシートへのフィードバック ・講義 ・グループワークによる意見交換 ・振り返りシートの提出	保育所等による子育て支援の対象やその社会的状況に注目し、必要な支援について理解することができる	予習：テキスト第10章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出ししておく 復習：講義やグループワークで得た知識や意見をまとめる	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
11	多様な機関・施設・事業所が行う地域子育て支援	・振り返りシートへのフィードバック ・講義 ・グループワークによる意見交換 ・振り返りシートの提出	多様な機関や施設が行う実践事例から、保育者および支援者の以遠に対する心構えや役割、連携のあり方について理解することができる	予習：テキスト第11章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出ししておく 復習：講義やグループワークで得た知識や意見をまとめる	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
12	障がいのある子どもおよびその家庭に対する支援と配慮	・振り返りシートへのフィードバック ・講義 ・グループワークによる意見交換 ・振り返りシートの提出	障がいのある子どもおよびその家庭に対する支援と配慮など、保育者の役割について説明することができる	予習：テキスト第12章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出ししておく 復習：講義やグループワークで得た知識や意見をまとめる	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
13	特別な配慮が必要な子どもおよび家庭に対する支援	・振り返りシートへのフィードバック ・講義 ・グループワークによる意見交換 ・振り返りシートの提出	保育所等におけるアレルギー等の医療的配慮、外国籍等、LGBTQ+等の特別な配慮が必要な子どもおよび家庭に対する支援について理解することができる	予習：テキスト第13章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出ししておく 復習：講義やグループワークで得た知識や意見をまとめる	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
14	子ども虐待に対する適切な予防と対応と要保護児童等および家庭への適切な支援	・振り返りシートへのフィードバック ・講義 ・グループワークによる意見交換 ・振り返りシートの提出	子ども虐待についての基本的な理解を確認したうえで、子どもを守り、子どもの最善の利益を第一に考えた保護者への対応や支援のあり方を理解することができる	予習：テキスト第14・15章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出ししておく 復習：講義やグループワークで得た知識や意見をまとめる	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	多様な課題のある子育て家庭に対する理解と支援	・振り返りシートへのフィードバック ・講義 ・グループワークによる意見交換 ・振り返りシートの提出	様々な生活問題に直面している保護者の事例について、事例を通して謙虚に学び、その辛さを理解することができる	予習：テキスト第16章を読み、学びのポイントにあるキーワードについて、言葉の意味を書き出ししておく 復習：これまでの講義やグループワークで得た知識や意見をまとめる	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力